

農業委員会だより



主な内容

- **農業委員会活動報告**
 - 農地パトロールの実施…………… 2
 - 耕作放棄地復元モデル事業…………… 3
 - 女性農業委員・推進委員の活動…………… 4
- **農業委員会からのお知らせ**
 - 農地の賃借料情報…………… 6
 - 農地の生前一括贈与の方へ…………… 6
- **地域農業情報**
 - 農業したいまち栗原…………… 8
 - 農家レストランみ~つけた!…………… 8



畜産農家「3世代」

金成赤児 田中豊さん一家

豊さん、かよ子さん夫婦、後継者の裕久さん、妻の加代子さん、孫の颯人君（金成小中8年）、舜也君（金成小中7年）、瑞己君（金成小中3年）の親牛37頭、仔牛20頭経営の牛大好き7人家族です。

昨年の全国和牛能力共進会で「ゆいこ号」が全国4位に入る栄冠に輝き、今年も家族の絆でさらなる飛躍を誓っています。



新年のご挨拶

栗原市農業委員会
会長 鈴木 康則

新年あけましておめでとーごいいます。

皆様には、ご家族お揃いで幸多き初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

農業委員会の業務推進並びに農業振興に格別なるご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、今回の農業委員会法の改正で、栗原市では平成29年7月24日に市長の任命を受けた農業委員と、農業委員会の委嘱を受けた農地利用最適化推進委員の体制で活動を進めているところで、

改正農業委員会でも大きく変わった点は「農地利用最適化」が法令必須業務になったことです。

これにより農業委員会は、一、担い手への農地利用集積・集約化、二、遊休農地の発生防止・解消、三、新規参入の促進、をさらに取り進むことになり、中長期的な指針を作成しました。

栗原市においても、農地利用はさまざま、どのような農地利用が最適なのかは、地域ごとに異なると考えられます。

農業委員と推進委員が連携し、地域の詳細な状況を調査・把握をし、地域に根ざした現場活動を推進して参りますので、農家皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新年を迎え市民、農家各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

農地パトロールの実施

(利用状況調査)

11月7日(火)～11月16日(木) / 栗原市内

遊休農地の実態把握と発生防止・解消指導や農地の違反転用発生防止等を目的に、農業委員、農地利用最適化推進委員全員で、農地パトロールを実施しました。調査の結果、荒れた状態で雑木が発生している農地も見受けられました。

今後、農地管理指導が必要な農地所有者や耕作者に対して、

口頭や文書による指導のほか、復元の助言や貸借等のあっせんなどを行い、適正管理につなげていくことにしています。



▲農地パトロールのようす



農地利用最適化推進委員
氏家 優一

私は今回のパトロールで74筆を確認しました。その内、遊休農地の解消がされていたのが20筆で全体の27パーセントでした。他の70パーセント以上が解消されていない状態のままでした。

これらの農地は利用意向調査の対象になると思いますが、来年度、解消するのは難しいと感じました。これが耕作放棄地に繋がってくると、思いますので、早急に対処方法を検討し、取り組んでいかないと、思いました。

荒廃農地の復元の取り組み

「耕作放棄地復元モデル事業」を11月から12月にかけて、農業委員と農地利用最適化推進委員が市内2箇所に分かれ、トラクターや草刈機を持ち寄って、約26アールの耕作放棄地の復元に取り組みました。

この取り組みは、耕作放棄地の解消のきっかけになればと始まったもので、今年で5年目となります。



▲一迫地区

復元作業のようす

若柳地区▶



農業委員
岩淵 敬一

今回、第2区（若柳・金成・志波姫）は、11月13日（月）、若柳畑岡地内で、20年ほど荒廃状態で耕作をあきらめていた、約20アールを草刈、伐根を行いました。農業委員、農地利用最適化推進委員総出の作業で、見事な美田に復元され、地主も大変喜んでおりました。

作業中、地区内の方々も見学に来られ、その状況に驚きと喝采を送っていただきました。

作業終了後、レンコン等を使った女性農業委員の手作り菓子等を頂きながら、更に続きの部分も復元したいとの同志から前向きな話しが出され、今後の計画に入りたいと考えました。復元された水田は、地区内の耕作者団体との委託契約を締結し、稲作作付耕作をしていくことになっており、今後、耕作指導にも力を入れていきたいと思っております。

更に力を合わせ復元に向けて努力してまいります。

栗原市農業委員会

農業委員・農地利用最適化推進委員合同研修会

10月13日（金）／栗原市役所金成庁舎

農業委員と農地利用最適化推進委員の業務と委員相互及び関係機関との連携を図ることを目的に合同研修会を開催しました。

研修会では、宮城県農業会議の寺田守彦専務兼事務局長を講師に招き、農業委員会制度と農業委員・農地利用最適化推進委員の活動について、詳しい説明を受けました。



農業委員
吉田 優俊

農業委員会等に関する法律の改正後、今年度新たに任命及び委嘱された農業委員、農地利用最適化推進委員を対象に研修会が開催されました。

研修会の内容は、農業委員会
の任務、役割と機能、法律に位置づけられた農業委員と農地利用最適化推進委員の連携による活動など農地利用最適化のための活動について説明を受けました。

農業者の経営基盤である農地を適正に維持しながら、担い手が夢と希望を持てるように支援していきたいと感じました。



▲合同研修会のようす

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。

電話 42-1239

「女性の社会参画に関する懇談会」に参加

11月9日(木) / 美里町農村環境センター



農業委員
佐竹 きみ子

県北部の女性農業委員、農地利用最適化推進委員、女性農業者58名が参加して開催されました。

女性農業者が積極的に経営や地域活動に参画できる環境づくりについて話し合わせ、ひとつの手段としての『家族経営協定』を締結した参加者からは、「家族の役割分担が明確になり、それぞれ仕事への責任感が強くなった」「夫と対等に話し合いができ、良い方向に進んでいる」など、たくさんの意見が出されました。



女性の社会参画への意識は年々高まっていますが、さらに地域や組織に積極的に参画し、女性の声を行動に移すことが大事です。それには、女性自身が常に情報の収集・知識の研鑽に努めなければならぬとあらためて感じました。

「くりはらし女性のつどい」を開催

11月14日(火) / お食事処「四季味」



農地利用最適化推進委員
千葉 和恵

今年度は、栗原市の市民団体『くりはらしチャレンジ』(佐藤けい子会長)の皆さんと交流を行い、22名が参加しました。

『くりはらしチャレンジ』の皆さんは、日ごろ男女共同参画の実践の中で、特に10年以上にわたり『住みたい栗原・希望が持てる栗原』の実現を目指し活動されています。当日は、男女共同参画の推進のほか、高齢化社会に向け加速する中で、今後どのように農業を守り続けていくべきかという、多くの農業者が抱えている課題などについて話し合われました。



参加者からは、「地域活性化のためには、地域のつながりが大切である」、「女性が元気で生き生きと輝いていることが地域の活性化につながる」など活発な意見が交わされました。

※チャレンジの「L」は、Learningの略(学ぶ、学習の意味です)

第2回宮城県農業委員会大会

11月20日(月)、大和町「まほろばホール」を会場に開催されました。



大会には県内の農業委員、農地利用最適化推進委員が一堂に会し、「農業・農村の持続的発展と競争力強化に向けた要請決議」「農地等の利用最適化の推進に関する申し合わせ決議」について、満場一致で可決されました。

受賞おめでとうございます

宮城県農業会議会長表彰

(永年勤続農業委員15年)

秋山 憲 委員(栗駒)

佐々木 吉 委員(栗駒)

上山 喜志雄 前委員(若柳)

土井 孝 敏 前委員(栗駒)

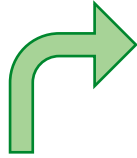
あなたの農地 貸してみませんか？

「農地集積バンク」を活用して問題解決！

出し手



規模縮小農家
離農農家等



農地集積バンク
(農地中間管理機構)



受け手



担い手農業者等

お問い合わせ

栗原市農業委員会・栗原市役所各総合支所市民サービス課産業建設係・
栗つこ農業協同組合各広域営農センター・宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所

農家相談コーナー

Q

耕作条件改善のため農地へ切土や盛土をする場合、2
アール未満の農業用施設を建築したい場合、手続きが必
要でしょうか？

A

農地を農地として利用するため、耕作可能な土質によ
る切土・盛土（30 cm以上の切土盛土が生じる場合）等
（※①）何らかの改良工事を加えることにより改善を図る場
合、または2アール未満の農業用施設（※②）を設置するた
めには、「**農地の現状変更届出**」が必要になります。

農地への切土盛土や2アール未満の農業用施設建築にあ
たっては、おおむね6箇月以内に工事が完了するものに限り
ます（※③）。

※① 田において、単に畦畔を取り除き複数枚の現況を1
枚のほ場に改善する場合は、届出不要です。

※② 農業用施設とは、農機具格納庫、作業場、畜舎、堆
肥舎、ワラ小屋など

※③ 工事期間が6箇月を超える場合や、2アール以上の
農業用施設を建築する場合は、県知事許可による農
地転用許可申請が必要です。

届出にあたっては、農地の現状変更届出書ほか、添付書類
として、位置図、公図写し、計画平面図、縦横断面図、同意を
必要とする場合は同意書などの書類提出が必要です。
なお、詳しいことについては、農業委員会事務局へお問い
合わせ下さい。

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。

電話 42-1239

栗原市の農地の賃借料情報

平成28年12月から平成29年11月までの1年間に賃貸借権を設定した賃借料の水準（10アールあたり）は、下記のとおりです。

今後、農地を貸し借りする際の参考としてご利用ください。

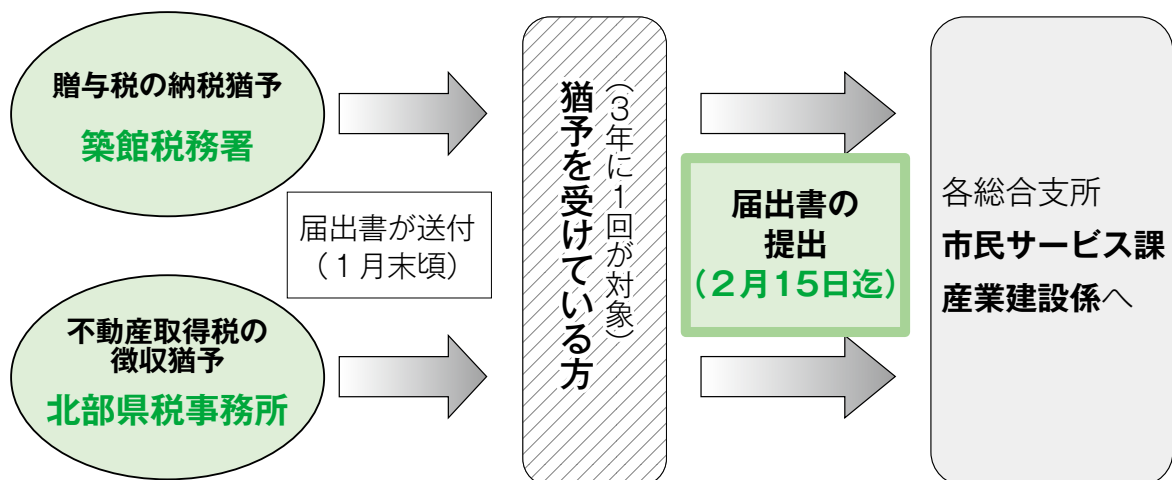
田（水 稲）

地区名	平均		最高		最低		データ件数	
	金納	物納	金納	物納	金納	物納	金納	物納
築館	11,800円	49kg	20,000円	90kg	8,100円	20kg	51件	249件
若柳	14,200円	53kg	19,000円	120kg	7,600円	23kg	889件	144件
栗駒	9,100円	52kg	16,000円	85kg	2,900円	27kg	357件	322件
高清水	14,100円	64kg	19,000円	120kg	8,200円	19kg	27件	145件
一迫	10,700円	59kg	22,000円	120kg	4,100円	14kg	816件	207件
瀬峰	10,400円	54kg	18,000円	120kg	2,000円	17kg	457件	39件
鶯沢	9,200円	51kg	13,200円	62kg	5,000円	28kg	202件	116件
金成	10,000円	60kg	20,000円	90kg	8,000円	13kg	75件	811件
志波姫	12,000円	67kg	17,000円	120kg	4,000円	23kg	498件	95件
花山	5,700円	34kg	8,000円	54kg	3,000円	28kg	36件	49件
栗原市	11,500円	56kg	—	—	—	—	3,408件	2,177件

※特別な事情などで賃貸借されたデータは除いています。
 ※データ件数が少なく前年と大きく変動している地区があります。
 ※畑については、提供できる賃借料情報が少ないことから表記していません。

農地の生前一括贈与により納税の猶予を受けている方へ

3年に1回届出が必要になります



事前予約のお願い! (申請・届出・相談など)

総会開催日や農閑期は、申請や届出・相談（農地転用・権利移動、非農地証明など）のお客様で窓口が込み合い、長時間お待ちいただくことがあります。

大変お手数ですが、農業委員会事務局または各総合支所市民サービス課産業建設係に『事前予約』のうえ、ご来庁いただきますようご協力をお願いいたします。

平成 29 年度 農業委員会総会開催予定日

※諸事情により変更となる場合があります

	1月	2月	3月
申請期日	10日 (水)	13日 (火)	12日 (月)
総会開催日	29日 (月)	26日 (月)	27日 (火)

農業者年金コーナー

しっかり積立て、
がっちりサポート
安心して豊かな老後を

老後の生活はこんなにお金がかかります!



高齢農家世帯
(世帯主が65歳以上)
の夫婦2人の生活費
月額約23万円
※総務省家計調査より

夫婦2人の
国民年金支給額
月額約13万円
※40年加入の場合

農業者年金は、国民年金の上乗せ年金です。積立方式・確定拠出型だから少子高齢時代でも安心。農業者年金に加入して、安心して豊かな老後を迎えましょう!

農業者年金に加入すれば...

～農業者年金の支給額(年額)の試算～

加入年齢	納付期間	保険料 納付総額	年金額(年額)		平均余命までの受給総額	
			男性	女性	男性	女性
20歳	40年	960万円	76万円	63万円	1,628万円	1,713万円
30歳	30年	720万円	50万円	42万円	1,080万円	1,137万円
40歳	20年	480万円	30万円	25万円	640万円	673万円
50歳	10年	240万円	13万円	11万円	285万円	300万円

※通常加入で保険料月額2万円納付し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.20%となった場合の試算。

※受給総額は、農業者年金受給者の平均余命(男性86.5歳、女性92歳)まで生存した場合の金額。

加入申し込み・ご相談は、農業委員会事務局へお問い合わせください。電話 42-1239

農業したいまち 栗原

畜産3年目での快挙

熊谷良太さん (志波姫)

志波姫刈藪袋の熊谷良太さん(27)は宮城県を会場に平成29年9月に行われた全国和牛能力共進会に出場し、第3区(若雌の2)において、良太さんが育成した「さくら76」が見事、全国第4位と宮城県勢として、すばらしい成績を上げました。

父親から素牛を買い取るなどして、こつこつと経営感を身につけました。今現在、母牛14頭、仔牛9頭まで増やし、母体の繁殖管理をするなど、今後増頭に意欲があるそうです。

今回の全国共進会での好成績は地元栗原の先輩やJA、そして、「さくら76」を育成するにあたって補助員の皆さんの協力があったことだと語っていました。それにしても畜産業3年目でこの快挙は見事でした。



▲手塩にかけて育てる熊谷良太さん

(取材：大場裕之委員)

農家レストラン み~つけた!!

農場そば 坊の蔵 (のうじょうそば ぼうのくら)
☎0228-56-2777
〒987-2511 栗原市花山字本沢大田7番地1



そば屋のおやじは偏屈に決まっている。花山「坊の蔵」のおやじもその例に漏れず相当変わり者。店の看板を何年も出さなかった。おかみも同じく変わっている。第一そばが大嫌いだからこそその年のそばの出来が良く分かる。味や香りにずば抜けた感覚を持つおかみの基準を超えたものしか、花山にある3軒はもちろん、近隣のそば屋のメニューに載ることはない。

日本各地を食べ歩いて見聞を広め、減反にそばを植え、製粉も自ら極みの粉を作り、平成17年に自宅の一部でそば屋を始めた。今立派な看板が立っているので、すぐ分かる。

(取材：千葉優子委員)

予約制(4名以上)です。上記電話番号へご連絡をお願いします。

花の山・川フルコース (旬材と地そば)

2,000円 (お一人様)



編集後記

明けましておめでとうございます。今年も農業委員会だよりをご愛読頂きますようお願い申し上げます。

いよいよ今年から新たな米政策が始まります。農業者の経営判断に基づく水田活用の推進を国は目指しています。近年は飼料用米等の作付け拡大により米価は安定していましたが、果たしてどんな経過を辿るのでしょうか？これまで以上に確かな情報活用が求められます。農業委員会としても、皆様の経営に役立つ情報発信をさらに強化してまいります。

(三浦正勝委員)